

研究課題名	長期療養中の筋萎縮性側索硬化症（ALS）にみられる気胸や胸膜炎～膿胸の検討
本研究の目的	神経難病において長期侵襲的人工呼吸（TPPV）管理下になると、肺炎を反復し、肺が粗造化し、肺コンプライアンスが低下し、従圧式で管理できなくなり、重量式に変更せざるを得ない。さらに気胸や膿胸も来たり、十分な換気もできなくなるなど治療方針に迷うことがある。このような治療上の問題が ALS 患者に特に多い印象があり、後方視的に検討することにした。
研究期間	2026 年 3 月倫理審査委員会承認後 ～ 2026 年 6 月 30 日
調査データ該当期間	2023 年 1 月 1 日 ～ 2025 年 10 月 31 日
研究の方法	●対象 上記該当期間中に当院神経内科入院の ALS 入院患者 ●用いる試料・情報 診療録より下記臨床情報を得る 病名、罹病期間、画像所見、TPPV の期間、設定条件、治療内容、性別、年齢、合併症、剖検所見
お問い合わせ先	電 話：0944-58-1122（代表） 研究責任者：山本 明史（脳神経内科）